

2024年3月25日

東大垣工場第4工場に太陽光発電設備を増設

太平洋工業株式会社（社長：小川哲史）は、2024年6月から、東大垣工場第4工場及び厚生棟で3MW級太陽光発電を開始します。昨年11月より稼働を開始しました建屋の屋根に、再生可能エネルギーのさらなる利用推進を目的として、PPAモデル[※]による太陽光発電設備を設置し、発電開始準備を進めています。

＜太陽光発電設備の概要＞

設置場所	東大垣工場第4工場 増設	<参考>東大垣工場全体
太陽光パネル容量	3,400kW	4,556KW
年間発電量	約 3,200MWh	約 4,410MWh
消費電力の置き換え	約 25.5%	約 13.5%
CO2削減効果	約 1,470t/年	約 2,020t/年

太平洋工業グループは、地球環境への取り組みを中長期の視野で検討し、2050年までの方針と目標を定めた「PACIFIC 環境チャレンジ 2050」を掲げています。CO₂排出量削減のための省エネ活動を推進し、再生可能エネルギーによる電力を使用するなど、脱炭素に向けて取り組んでいます。

今後もCO₂排出量削減活動を積極的に推進し、カーボンニュートラル社会の実現に取り組んでまいります。

※PPAモデル（Power Purchase Agreement、電力販売契約）

発電事業者が、需要者の敷地内に太陽光発電設備を無償で設置、所有・維持管理した上で、発電された電気を需要家に販売するしくみ。



東大垣工場第4工場および厚生棟に設置した太陽光パネル

＜お問い合わせ先＞ 太平洋工業株式会社 安全環境部（担当：箕浦） TEL:0584-93-0148